

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あうりんこ谷山			R7年2月28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		タブレットを使用し、保護者に許可を頂いたうえで事業所の支援の様子を動画で共有するなど実施している。また、児童にあわせて絵カード等必要に応じて訪問する際に教材を持参している。	園や学校によっては直接支援を行ってほしくないという希望もあるため、訪問支援で教具教材を揃えても使用することの難しさはある
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		訪問支援員を複数配置していることで、事業説明から実際の訪問まで適切に行えている	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		訪問後に職員周知し、現在の課題抽出や今後の支援内容について話し合いをその都度行っている	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向け評価は実施していないが、半年に一度訪問する前にニーズの聴取・確認を行っている	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		半年に一度、訪問支援員での報告会を行っており、業務改善に努めている	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は行っていないが、今回の訪問先評価の内容を受けて業務改善につなげていく
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		各個人で受けた研修などを職員周知し、統一した支援が行える・職員の資質の向上が出来るよう機会を設けている	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		評価結果とニーズについて、家族と課題を整理しながら計画を作成している	課題やニーズは変化するため、都度確認をしていく必要がある
	9	保育所等訪問支援計画を作成するには、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		策定会議を行い、共通理解の下で保育所等訪問支援のみでなく日々の通所支援にも生かしている	
	10	保育所等訪問支援計画を作成するには、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		訪問時や電話、メール、担当者会議等で施設や担任との意見交換や情報共有を行い、作成に反映している	計画作成の時期や訪問先の行事等によって日程調整が困難となることもあり、年間計画等で作成に係る会議を調整したい
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		策定会議を実施の際に、保育所等訪問支援についても職員周知ができています	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化された検査を用いての評価と実際の活動場面での評価を行っている。前回との比較も含めての発達状況を確認している	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		訪問先と支援内容や具体的な方法を共有し実施に繋げている。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		策定会議を実施する際に共有している。また、訪問後の報告時に計画に沿った支援が行われているかその都度確認を行っている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼や全体会議の際に、保育所等訪問支援の件についても話し合いを行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		訪問後に職員周知し、現在の課題抽出や今後の支援内容について話し合いをその都度行っている	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		事前に訪問先の情報収集（HPやSNS等）や挨拶や説明時に理念や支援方法等を確認して訪問を実施している	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		支援内容や、環境、行動観察について記録しており、訪問前の確認や前回との比較ができるように報告書としてもまとめている	
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		毎回、訪問に対する必要性や課題の共有、意向の確認を行っている。内容に応じて訪問の頻度や時間の調整を行っている		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		参加できるように調整を行っている。参画が難しい時は申し送りや引継ぎ、記録や計画書での確認を行い、理解に努めている	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		訪問前や訪問後の報告や情報提供、共有を都度行っている	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行前に、保育所等訪問支援前に事業説明・挨拶を実施している。その際、必要に応じて支援内容の情報共有を行っている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		外部研修には職員が個々で参加しており、その内容を情報共有をしている	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		○	参加できていない	参加できるように勤務調整や日程調整に努める
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		保育所等訪問支援後にご家族に報告をする際、発達状況や子供の今後の課題について伝達し、共通理解を持てるよう努めている	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	個別での情報提供のみとなっており、家族等が参加出来る機会は設けていない	今後、家族等が参加出来る研修の機会について検討を行う。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っている	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		訪問前の挨拶に事業説明、訪問支援の目的、具体的な支援内容、訪問先の負担軽減について説明し、理解を得て実施している	1回の説明のみでは、十分な理解に至っていないこともあり、必要に応じて再度説明を行えるよう準備している
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保育所等訪問支援計画を作成する際に、こども・保護者への聞き取りを行い、意向を確認している	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		保育所等訪問支援計画について説明を行い、保護者の同意を得ている	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		訪問の前後へ家族へ連絡し、悩みをお聞きする機会を作り、助言・支援を行っている。それ以外にも必要に応じて家族の相談に応じている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者・きょうだい同士で交流する機会は作っていない	今後、保護者・きょうだいと交流する機会について検討していく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		申し入れがあった際には、対面や電話での相談の機会を作っている	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的な通信の発行は行っていないが、電話やLINEにて連絡できる体制を作っている。活動については、必要に応じて写真や動画を使用し、情報共有を行っている。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取扱いに留意している	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		こどもの発達段階に合ったコミュニケーションや、保護者へわかりやすく情報提供を行うようにしている	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問支援以外にも電話で相談等に応じており、助言や支援を行っている	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		毎回の訪問後にカンファレンスを行う機会を設けている。必要に応じて電話での対応も行っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		電話や対面、LINEにて支援内容の共有を行っている	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取扱いに留意している	

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		訪問先施設への相談に応じ、専門的な視点から助言を行っている	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを作成し、訓練を実施している	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全管理を行い支援を実施している	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所内で共有し、方策を話し合い、報告書作成している	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止に関する研修への参加、その後全職員への周知研修を行っている	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に説明を行っている。計画書に記載した際は説明し了承を得ている。	